

生誕140周年 熊谷守一展 ーわたしはわたしー

特別陳列 静けさが形となる時 西田藤夫 イタリア四十年



熊谷守一《いんげんに熊蜂》1961年
ー「生誕140周年 熊谷守一 ーわたしはわたしー」よりー



西田藤夫《タミジャーナ》1982年
ー「静けさが形となる時 西田藤夫 イタリア四十年」よりー

■ 前田家の天神信仰【前田育徳会尊經閣文庫分館】

■ 古九谷・再興九谷名品選【古美術】

■ はこ・箱・hako さまざまな素材とわざ【近現代工芸】

■ 優品選【近現代絵画・彫刻】

■ 遊戯具と香道具【前田育徳会尊經閣文庫分館】

- 企画展Topics かお・すがた・こころ ー肖像と近代ー
- 友の会会員募集
- 3月の行事予定

第7・8・9展示室

北陸中日新聞発刊60周年記念

生誕140周年 熊谷守一展 一わたしはわたし一

主催：北陸中日新聞、石川テレビ放送、石川県立美術館

後援：石川県、金沢市、金沢市教育委員会、NHK金沢放送局、エフエム石川 特別協賛：東海東京証券

2月11日(木・祝)～3月14日(日) 会期中無休

熊谷守一の生涯をたどると、その人生はけっして順風満帆だったわけではありません。岐阜の裕福な家柄の下に生を受けますが、複雑な家庭環境の中で育ち、周囲の人間関係にとまどいながら、次第に「自分は自分」という信念を形成していきました。少年期から絵に関心を持っていた守一は、東京美術学校へ進学、本格的に絵の道を志すようになります。しかし当時から、売るための絵を描くことをせず、自分の心の赴くままに筆をとっていたため、経済的には非常に苦しい生活を余儀なくされました。友人たちが海外へ渡航し、最新の画壇の動向を伝えてきても、時流に流されることなく、自己の作風を追求していきます。また、家族ができ、養う必要が出てきても、決して人におもねるような制作はせず、あくまで「自分」を貫いていきました。

守一は、自然の景観、草花、鳥、魚、動物、昆虫、また身近な人々など、日々の暮らしの中で、見過ごされてしまいそうな対象をじっくりと観察し、その形や色彩の本質的な要素をつかみ取り、画面の上に表現していったといえます。《春の日》と題された本作は、椿の赤い花が葉の緑を暗示させる背景の薄緑色の上に、バランスを保って配られています。暖色と寒色の調和のとれた色面構成と、フォルムをかたち取る微妙に揺れ動く色線は、「モリカズ様式」と呼ばれるもので、豊潤な味わいを醸し出しています。

◆観覧料

一般…一〇〇〇円(八〇〇円)

高校・大学生…八〇〇円(六〇〇円)

小・中学生…五〇〇円(三〇〇円)

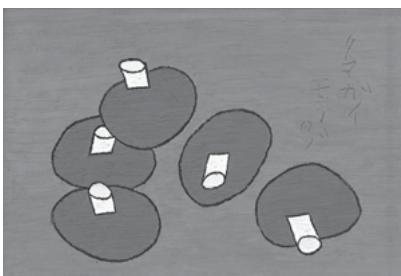
※()内は二十名以上の団体料金

※県立美術館友の会会員は団体料金。身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方は団体料金。付き添い一人は無料。

◆お問い合わせ先

北陸中日新聞事業部

☎ 076(233)4642 (平日10時～17時)



《春の日》1966年
あいおいニッセイ同和損保蔵



《ヤキバナカエリ》1956年 岐阜県美術館蔵



《牝猫》1959年 個人蔵



《夏の月》1961年
埼玉県立近代美術館蔵

静けさが形となる時 西田藤夫 イタリア四十年

2月13日(土)～3月19日(金) 会期中無休

学芸員の眼

ここでは、西田作品の魅力について少し述べたいと思います。

まず、西田作品に通じるのは、隙のない空間作りでしょう。本文で、「モチーフが織りなす緊密な世界」と紹介したとおりです。特に近年は画中のモチーフを精選し、緊密でソリッドな東洋的ともいえる空間を作りだしています。イメージとしては、宮本武蔵筆《枯木鳴鶴図》でしょうか。隙なく、見えない糸が張り巡らされているような空間です。

そして、強く主張するわけで無く、静かですっきりとした光に纏われた色彩。多くの画家がそうであるようにアトリエには北向きの窓を持ち、そこからの採光にこだわって制作しているそうです。緊密な空間と穏やかな色彩の絶妙なバランスが、静かな作品世界を生み出しているのです。



《アネモネ》2013年

今号では、静物画の歴史から、西田作品にアプローチをしてみよう。

西田藤夫が四十年にわたり、静物画を描いてきた国はイタリアでしたが、実は静物画が最も隆盛を極めたのが十七世紀のオランダです。オランダはプロテスタントが主流の国であり、カトリックの国イタリアのような宗教絵画の需要が無かったという背景があります。

さて、近世ヨーロッパでは、絵画ジャンルに序列が存在していました。十五世紀には、歴史画や宗教画を扱うことが画家として名誉であるとの考えがすでに見られます。十七世紀には、美術アカデミー等の影響から序列は顕著になります。聖書や神話に基づく歴史・宗教画が最高位で、次に王侯貴族を描く肖像画、そして風景画へと続きます。静物画は「生命のない自

然を模倣しているにすぎない」として最下位を余儀なくされます。そこで画家達は、静物画のモチーフに神話の寓意や、人生のはかなさの象徴（ドクロや剥きかけのレモンなど）を織りませ、作品に神学的な正当性を持たせようとしたのです。そうまでして静物画が制作されたのは、静物画の写実に魅了された人々の、確かな需要があったからでしょう。

今日、そうした序列による制約が無くなり、画家の自由な創意が優先されるようになりました。描かれるモチーフに興味を見いだす必要はなくなつたのです。毛糸は毛糸、花は花。西田作品に通底する「モチーフが織りなす緊密な世界」をただ楽しむ。今回の展示で、そのような体験をしていただければ幸いです。



《ただすむ花束》2018年

古九谷・再興九谷名品選

2月13日(土)～4月13日(火)

※3月20日(土・祝)～23日(火)は休館

今回は、古九谷の産地問題を再考したいと思います。三十年ばかり前から「古九谷」と呼ばれてきた色絵磁器の産地は九谷ではなく、有田であると主張が強く打ち出されるようになりました。しかし令和元年の当館特別陳列「古九谷と加賀蒔絵の至宝」で紹介したように、九谷古窯跡の出土品から、白磁素地の制作、色絵(五彩手)、青手兩様式の絵付けが九谷で行われていたことは十分立証できます。出土陶磁片はあくまで廃棄されたものであり、絵付けなど、伝存品に近い完成度のものが大量に見つかることが不自然です。

有田産説の根拠とされる考古学や科学分析からの考察は、あくまで個人が解釈した成果の有意性に立脚したものであることは留意すべきです。広範な地質の組成が均一であるとするあり得ない前提の上

に、一万分の一%の割合・ppmで胎土の希土類の含有量を比較することで産地を峻別することは個人の解釈であり、当然同じデータから産地を推定するに足る有意性は認められないという解釈も成立します。

したがって考察せねばならないのは、古九谷の表現様式が、再興九谷として加賀の地に連綿と伝えられている歴史的事実です。前田家の発注により有田で古九谷が制作されたと解釈するのであれば、引き続き再興九谷も有田で生産すればより大きな利益を生んだはずですが、そうではなかった事実が「九谷」の歴史の重さです。大量生産・大量消費の時流を見据えながらも、古九谷の一品制作の精神を継承した再興九谷諸窯の姿勢は、この歴史に対する自負であり、今回の展示で改めて強調したい点です。



《色絵象人物図角皿》古田屋窯

前田家の天神信仰

2月13日(土)～3月19日(金) 会期中無休

展示中の重要文化財《荏柄天神縁起絵巻》上巻の各段をご紹介します。前号にて触れたとおり、菅原是善邸の庭に現れた童子が「わたしを菅原家の子に」と請うたことを喜び、是善が道真を抱きかかえた場面「第一段 道真化現」から始まります。

十一歳で優れた漢詩を詠み「第二段 幼少詩作」、天台宗の僧円仁がまとめた仏典の序文を、まだ二十歳すぎの道真に求めたこと「第三段 序文執筆」。机に向かつてばかりの道真に、弓など射られないだろう」と試されるも、見事百発百中「第四段 弓射妙技」と、幼い頃から文武に優れたエピソードが続きます。

第五段は、吉祥院で道真の五十歳を祝う法会が行われ、長寿を祈る帝の願文と砂金もたらされたこと「五十賀祝」。第六段では、一時に十首の句をつくり帝

に献上し「献上詩作」、中納言から大納言、やがて右大臣にまで昇進したこと。第七段には、菅家三代の歌集を献上し、感銘した帝から御詩を賜ったこと「天覧拝謁」など、順調に出世を重ねた様子がうかがえます。

しかし、第八段では、左大臣藤原時平の讒言によって大宰府への流罪が決まり、悲しみの歌を宇多法皇に贈り「法皇佇立」、自らの邸宅の梅に別れを告げます「第九段 紅梅別離」。牛車を見送る沿道の人々は涙に暮れ「第十段 配流陸路」、船が浪速津より出発する様子「第十一段 配流海路」が描かれます。以上が上巻です。

三月六日の土曜講座では、これらの各場面の詳細と、続く中下巻の各場面について紹介します。展示とあわせて、理解を深めていただけると嬉しいです。

重要文化財《荏柄天神縁起絵巻》第四段 弓射妙技の場面

第3・6展示室【近現代絵画・彫刻】

優品選

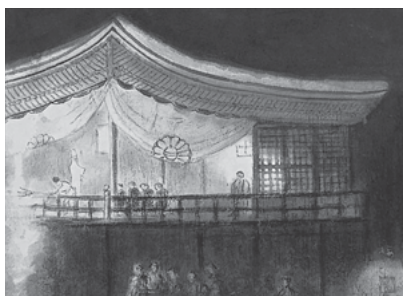
2月13日(土)～3月19日(金) 会期中無休

日本画分野からはこの時期に合わせて、黒田櫻の園《御水送り神事》をシリーズ十面すべて展示します。毎年三月二日に福井県小浜市の若狭神宮寺から流された香水が、十日かけて東大寺二月堂若狭井に送られるとされ、三月十二日には東大寺のお水取りでくみ上げられます。

油彩分野で今回展示する宮本三郎《歌手》、鴨居玲《望郷を歌う(故高英洋に)》は、ともに熱唱する女性の姿が描かれています。師弟の関係にあった二人ですが、豊かな色彩と軽快なタッチで生の讃歌を歌い上げる宮本に対し、鴨居は抑制された色彩と素早い筆触によって、懊悩する生の叫びを表現しているように、それぞれ独自の個性的な作風が見られます。

彫刻分野からは、日展特選に輝いた野島耕之介《途》や楽しい音楽が聞こえてきそうな宮地寅彦《口笛》、ルオーの連作版画「ミゼレーレ」に触発されて制作した中村晋也《Miserere VI》、吉田三郎が人体以外に得意とする動物(らくだ)モチーフの《曠野》などを展示いたします。

版画分野では脇田和が昭和五十三年度以降に手がけた、衣服などをテーマとした作品を紹介しています。八種類の柄や襟の形が異なる洒落たシャツが並ぶ《首回り》や細かな柄まで描かれた《くつした》からは、十五歳から七年間ドイツに滞在し、洋服文化が長い西洋での生活の影響を感じさせます。



黒田櫻の園(御水送り神事 鞆鞆行法)

第5展示室【近現代工芸】

はこ・箱・hako

さまざまな素材とわざ

2月13日(土)～3月19日(金) 会期中無休

現在、当館公式ウェブサイトおよび、石川県のYouTubeチャンネル[Shikawa Pref]において、蓋を開けた様子を紹介している四作品の内、筑城良太郎《柘造筋違菓子器》を、前回アラカルトのページで紹介しました。今回はあと三点を解説します。

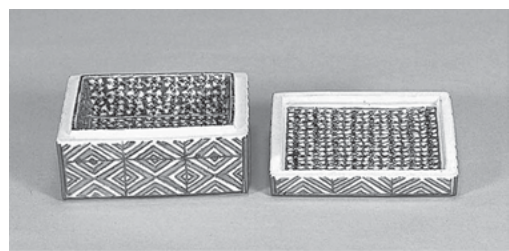
下図の蓋を開けた箱は、色絵磁器の人間国宝・富本憲吉の《染付色絵菱文角箱》です。整然と描かれた染付の菱文を、各辺に施された茶色い錆釉が引き締めた、清々しい意匠です。蓋を開けると、赤や緑を用いた小花の模様が見れ、ハツとさせられます。大小二点あり、どちらも同じ意匠です。

蒔絵の人間国宝・寺井直次《金胎蒔絵漆箱「飛翔」》は、文化庁の工芸技術記録映画対象作品とほぼ同じものです。素材は金属で、表面に布を被せて漆を塗

り、蒔絵で鶴が飛び行く様子を描いています。内部側面には、蒔絵で亀甲文が施された三段重が見れ、外内では鶴亀、長寿を表しています。各重の内には桐の板が貼られ、金胎とは思えないほど薄く軽量です。

木工芸の人間国宝・氷見晃堂《柘造八稜箱》は、複雑な木目の柘による八角箱です。各辺に配した堅木の黒檀は、強度を高めると同時に意匠のポイントとなっています。幾何学模様の象嵌は、白金と木を用いており、木象嵌は側面が黒檀、甲面は赤みがかった紫檀です。蓋を開けると金銀二色の象嵌を施した掛子があり、欠けやすい内部の縁周りにはやはり、堅固な紫檀をあしらっています。

素材を活かし技術を凝らした、箱作品をお楽しみください。



富本憲吉《染付色絵菱文角箱》

かお・すがた・こころ —肖像と近代—

4月18日(日)~5月23日(日) 会期中無休

遊戯具と香道具

3月24日(水)~4月13日(火) 会期中無休

前田育徳会尊經閣文庫分館では、「遊戯具と香道具」というテーマで、加賀藩前田家に伝わる「遊び」にかかわる絵画と工芸品、特に香を鑑賞する「香道具」を紹介します。

草花の茂みに群れる雉を描いた画面の上部に、平安時代から鎌倉時代の女性歌人三十六名を「歌合」として表したのが《女三十六歌仙色紙雉図》屏風です。左には小野小町・和泉式部・紫式部・清少納言など十八名、右には式部内親王・宮内卿・俊成卿女など十八名の歌と姿が描かれています。異なる時代の女性歌人たちを画面上で競わせた遊び心と華やかさを備えた作品です。

一方、香は楽しむだけでなく、古代より献上品としても尊ばれましたが、近世に入ると大名調度のひとつとして発展します。特に各種の香道具をまとめた「十種香道具」は、その代表です。調合した香を競い合ったり、炊いた香を楽しんだり、和歌と関連した道具などが納められています。豪華な蒔絵が施されているのが特徴で、前田家に伝わる十種香箱は、梨子地に蒔絵で唐草模様が施されています。

また、香の判別に応じて盤上の人形・動物などを移動して勝負を競う盤立物も登場します。源平合戦をモチーフとした源平香、鷹匠と鳥類が対峙した鷹狩香、玄宗と楊貴妃が対峙した花軍香など、見るも楽しい香道具が並びます。

本特集ではその他、馬上からの鎗矢を射る流鏑馬の様子を描いた住吉廣長による《流鏑馬等図》など、全十二点を紹介します。

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった企画展を、規模を拡大して開催いたします。

日本画、洋画、版画、彫刻における肖像の名品が金沢に集まります。近代日本を代表する作家の作品や描かれた偉人、近代ならではの制作方法や視点など、肖像作品が持つ「近代」の諸相を詳しい解説とともにお楽しみいただけます。東京国立近代美術館の特別協力により同館の所蔵品が多数出品されるほか、日本各地の美術館に所蔵されている名品をご覧いただける貴重な機会となります。

近代を象徴するかお、時代を生きた人々のすがた、そこにあらわれたところ。全国的に活躍する作家の優品、県外に所蔵されている石川ゆかりの作品を含む約九十点の作品が、みなさまをお待ちしております。

◆おもな出品作家

日本画…

- 伊東深水 上村松園 小倉遊亀 片岡球子
- 狩野芳崖 鍋木清方 川端龍子 北野恒富
- 下村観山 高山辰雄 橋本雅邦 橋本関雪
- 安田靉彦 など

洋画・版画…

- 鴨居玲 小磯良平 高光一也 中川一政
- 裕伊之助 三岸好太郎 宮本三郎
- 棟方志功 脇田和 など

彫刻…

- 朝倉文夫 石井鶴三 佐藤忠良 高田博厚
- 高村光雲 戸張孤雁 長沼守敬 平櫛田中
- 山田鬼斎 吉田三郎 など



野田九浦《瀬祭書屋（正岡子規）》
武蔵野市蔵



《村梨子地唐松唐草御紋蒔絵十種香箱》

石川県立美術館友の会 会員募集

3月1日(月)から受付開始！郵送でのお申し込みは郵便振替で。
現会員で継続を希望される方も、改めてお申し込み下さい。

1. 会費 二、〇〇〇円
2. 受付期間 三月一日(月)より開始。
3. 入会手続 次のA、Bいずれかの方法。

A 直接来館してお申し込み
・会員証…その場で発行。

・場 所…一階情報・図書コーナー

・申込方法…会費(現金)と入会申込書に所定事項を

記入して提出。

・受付時間…午前九時三〇分～午後五時三〇分(休館

日を除く)

※展示替えによる三月の休館日は、二十

日(土・祝)～二十三日(火)です。

B 郵便局からのお申込み

・会員証…三月末から美術館日よりと共に郵送。

・申込方法…同封の払込取扱表に所定事項を記入し、

最寄りの郵便局(ゆうちょ銀行)窓口

にて支払い。払込手数料は申込者負担。

・注意事項…郵便局で払込した方は、同封の申込書を

郵送する必要はありません。払込取扱票

の受領証は、会員証が送付されるまで大

切に保管してください。

◇郵便局(ゆうちょ銀行) 備え付けの振替用紙をご使

用の場合、口座番号・加入者・通信欄に左の事項を

記入して支払い。

・郵便振替口座…0070017146490

・加入者名…石川県立美術館友の会

・通信欄記入事項…年齢、性別、会員の区別(継続・

新規・元)、職業、継続会員の方

は現在の会員番号

4. その他

◇会員証の有効期限…令和三年四月一日～令和四年三月三十一日

◇会員証の対象…記名者本人のみ(ご家族の方との連名受付はありません)。

◇一度納入された会費の返金はできません。

◇会員証紛失による再発行はできません。

会員の特典

●コレクション展に無料で入場可(要会員証・会員本人のみ)

●企画展入場券進呈(春季・夏季・秋季三回の企画展のいずれか二回に無料で

入場可)

●企画展の開会式(開会式がない場合は初日)にご招待

●入館料の割引(要会員証)

①同伴者二名まで…コレクション展、企画展観覧料が割引

②会員本人のみ…石川県立歴史博物館、石川県七尾美術館、石川県輪島漆芸美術館、石川県九谷焼美術館、石川県能登島ガラス美術館、金沢21世紀美術館、脇田美術館の各館主催展覧会を割引。

●館主催諸行事への参加

●館内カフェ「ルミューゼドゥアッシュ KANAZAWA」にてドリンクの割引(要会員証、平日のみ)

●最新情報をお伝えする『石川県立美術館だより(本誌)』を毎月郵送

3月の行事予定

13日(土)	現代陶芸の楽しみ	学芸員	奈良竜一
6日(土)	前田家の天神信仰	学芸専門員	村上尚子
■土曜講座	13時30分～15時	美術館講義室	無料

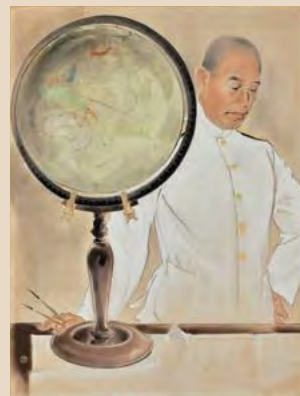
会期：令和3年4月18日(日)～5月23日(日)



安田鞞彦《大観先生像》1950年
東京国立近代美術館蔵



北野恒富《夜桜》(部分) 1943年
大阪市立美術館蔵



川端龍子
《越後(山本五十六元帥)》1943年
大田区立龍子記念館蔵



宮本三郎《妻と私と》1963年
東京国立近代美術館蔵



三岸好太郎《少年道化》1929年
東京国立近代美術館蔵



平櫛田中
《鶴筆試作(岡倉天心像)》1942年
東京藝術大学蔵

次回の展覧会

令和3年4月18日(日)
～5月23日(日)
会期中無休

第3・4展示室	第5展示室	第6展示室	1F企画展示室
いしかわゆかりの肖像 【近現代絵画・彫刻】	工芸と暮らす 【近現代工芸】	優品選 【近現代絵画・彫刻】	かお・すがた・こころ —肖像と近代—

前田育徳会 尊経閣文庫分館	第2展示室
雪舟の「花鳥図屏風」 と加賀藩の美術工芸	加賀藩における 狩野派の絵師たち

ご利用案内
コレクション展観覧料 一般 370円(290円) 大学生 290円(230円) 高校生以下 無料 ※()内は団体料金 3月1日は第1月曜により コレクション展示室無料の日
3月の開館時間 午前9:30～午後6:00
カフェ営業時間 午前10:00～午後6:00 年中無休
3月の休館日は 20日(土・祝)～23日(火)

「石川県立美術館だより」に広告を掲載しませんか？

石川県立美術館友の会会員、石川県立美術館協力者、県内各行政機関及び文化施設、全国の美術館・博物館へ

郵送配布!! 3,000部発行

ターゲットを狙った 知名度向上

県立美術館発行の 信頼度の高い広報媒体

お問い合わせ ☎092-716-1401

株式会社ホープ 福岡県福岡市中央区薬院1-14-5MG薬院ビル7F
東京証券取引所マザーズ上場 福岡証券取引所Q-Board上場 財源確保 検索

石川県立美術館だより
第449号(毎月発行)
2021年3月1日発行

〒920-0963
金沢市出羽町2番1号
Tel:076(231)7580
Fax:076(224)9550
URL <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

石川県立美術館は電源立地地域対策交付金を活用して運営しています。